

防衛協会会報

発行所 全国防衛協会連合会
〒162-0844 東京都新宿区西新宿
八幡町13番地 東京防衛協会館9階
電話：03(5579)8348
FAX：03(5579)8349
メール：jim@ajda.jp
ホームページ：www.ajda.jp
定価150円(送料別・会員は会費に含む)



第37回定期総会開催 全国防衛協会連合会

全国防衛協会連合会(大宮英明会長)は6月1日、ホテルグランドヒル市ヶ谷(東京都新宿区)において第37回定期総会を開催した。総会には連合会役員のほか、都道府県防衛協会および自衛隊協力会等の会長を中心に、約50名が全国各地から参集し、和やかな雰囲気の中にも充実した議論が交わされた。本総会では、3年間にわたり連合会の発展に尽力された大宮英明会長が退任した。後任として、大宮会長と同じ出身母体を有する泉澤清次氏(三菱重工工業株式会社取締役会長)が第5代会長に就任した。

また、総会に先立って表彰式が行われ、総会後には講演会と懇親会が続けて開催されるなど、一連の行事は円滑に進められた。

定期総会

総会では次の6項目の議案が審議され、全て原案通り承認された。

- 令和7年度事業報告
- 令和7年度収支決算書
- 令和8年度事業計画(案)
- 令和8年度収支予算書(案)
- 役員人事(案)

懇親会

講演会終了後、懇親会が開催された。小泉防衛大臣、宮崎防衛副大臣、若林防衛政務官をはじめ、松永統幕副長、荒井陸幕長、齋藤海幕長、森田空幕長等の防衛省・自衛隊の幹部、友好団体等の来賓、および特別会員など多数が参集し、100名を大きく上回る出席者を得て、大盛況であった。

新会長に泉澤清次氏を選任

大宮会長 退任

【新体制は、「全国防衛協会連合会ホームページ」(参照)
6「令和8年度防衛問題に関する要望書」(案)
【2面に全文掲載】

講演会
総会後、当協会常任理事4氏(進行・伊藤俊幸元海将、パネリスト・小川清史元陸将、湯浅秀樹元海将、



【左記に概要掲載】
女性部会・衛協会長(左)から大宮前会長へ花束贈呈をもって閉会した。

パネルディスカッション

戦争の変化と日本防衛 ——陸海空の視点から——

戦争の様相が激変する中、日本の防衛の在り方を問うパネルディスカッションが行われた。陸・海・空の元将官が登壇し、現場のリアルな声から「令和の防衛」を語った。

第一部では「現代戦の常識の崩壊」をテーマに、ウクライナや中東の戦例を例に議論が展開された。小川氏は「ドローンと衛星通信により戦場が可視化され、従来の機動戦が困難になった現実を指摘。湯浅氏は、黒海や紅海・ホルムズ海峡での非対称戦に触れ、安価な無人機が高価な艦艇を脅かす構図を示した。山田氏は、制空権が奪えない膠着状態や飽和攻撃の脅威を挙げ、航空優勢の概念の崩壊が抑止力強化に不可欠と述べた。小川氏は「防衛費増大、戦争の『常識』が根底から覆されていく」とが浮



大宮会長挨拶

本日は、ご多忙の中、第37回定期総会に全国各地からご出席頂き誠にありがとうございます。皆様方には、平素より全国防衛協会連合会の事業・活動に多大なご支援・ご協力を賜り、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

本日は、令和7年度の事業報告と収支決算報告、令和8年度の事業計画(案)と収支予算(案)、役員人事(案)及び防衛問題に関する要望書(案)についてご審議頂きますのでよろしくお願い致します。

さて、国際社会は戦後最大の試練のときを迎え、新たな危機の時代に突入しつつあります。グローバルなパワーバランスが大きく変化し、政治・経済・軍事などがにわたる国家間の競争が顕在化しており、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっています。

自衛隊の皆様は、日夜我が国の防衛という重大任務に精励され、ともに、国内外において様々な活動を行っており、国民の自衛隊に対する信頼と期待は一段と高まっています。

ウクライナ侵略が長期化する中で、国民一人一人が「自分の国は自分で守る」という気概を強く保持することの重要性が改めて求められています。

当連合会としても、その目的とする「防衛意識の高

揚」と「自衛隊への支援・協力」を進めるためには、自衛隊を取り巻く環境の変化と会員の皆様のご意見を踏まえて事業を推進していくことが肝要と考えています。

そして、連合会としてのあるべき姿に思いを致し、会員皆様との連携を更に深めるとともに、会勢拡大、特に特別会員・法人の加入促進を図って参りたいと思っております。引き続きご支援・ご協力の程お願い申し上げます。

本日は、この後、講演会として、当協会の常任理事4氏による「戦争の変化と日本防衛——陸海空の視点から——」というテーマでパネリストディスカッションを予定しています。

また、講演会に引き続き、懇親会を予定していますので、小泉防衛大臣はじめ防衛省・自衛隊の高級幹部の方々と懇親を深めていただければ幸いです。

私ごとですが、本日をもって全国防衛協会連合会会長の職を辞することとなりました。会長としての3年間、皆様からいただいたご指導・ご協力に對しましてこの場をお借りして心から御礼申し上げます。

今後は、三菱重工株式会社取締役会長である泉澤清次新会長にバトンタッチしますが、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、全国防衛協会連合会に対するさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【表彰状・団体】
宮崎県防衛協会
都城市支部(宮崎)

※青字は表彰式出席者

栄えある受賞おめでとうございます



表彰式に出席された受賞者。左から4人目は大宮会長



防衛協会の会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

鳥取県の人口は、全国最少です。鳥取県防衛協会の規模が全国最小かどうか不明ですが、活動などを紹介します。

鳥取県の人口は、現在53万人で、この小さい鳥取県に設備の整った空港が二つあります。どちらの空港も戦前に軍事利用されていた飛行場が、原点です。

一つは、鳥取県東部に位置する「鳥取空港」、愛称「鳥取砂丘コナツ空港」です。この空港は、「旧陸軍鳥取飛行場」から始まり、「市営鳥取飛行場」、その後、少し場所が変わり現在、県営鳥取空港として運営されています。

もう一つは、鳥取県西部に位置する「米子空港」に位置する「米子空」です。

熱気に満ちた議論は、参加者に深い示唆と行動への気付きを与え、今後の防衛議論の方向性を照らすものとなりました。

令和8年盛夏		暑中御見舞申し上げます										全国防衛協会連合会																																																																																							
全国防衛協会連合会	会長 溝淵 信一	全国防衛協会連合会女性部会	会長 衛藤まり子	沖縄県防衛協会	会長 國場 幸一	鹿児島県防衛協会	会長 塩田 康一	宮崎県防衛協会	会長 河野 俊嗣	熊本県防衛協会	会長 木村 敬	大分県防衛協会	会長 吉村 恭彰	長崎県防衛協会	会長 平田 研	佐賀県防衛協会	会長 山田 裕久	福岡県自衛隊協力会連絡協議会	会長 谷川 浩道	高知県防衛協会	会長 山元 文明	愛媛県防衛協会	会長 三好 賢治	徳島県防衛協会	会長 住江 啓治	香川県防衛協会	会長 佐伯 勇人	山口県防衛協会	会長 清原 生郎	広島県防衛協会	会長 松藤 研介	岡山県防衛協会	会長 松田 久	島根県防衛協会連合会	会長 久保田一朗	鳥取県防衛協会	会長 平井 耕司	和歌山県防衛協会	会長 山本 進三	奈良県防衛協会	会長 小林 信男	兵庫県防衛協会	会長 川崎 博也	大阪防衛協会	会長 井上 礼之	京都府防衛協会	会長 山仲 修矢	滋賀県防衛協会	会長 増田喜代司	三重県防衛協会連合会	会長 伊藤 歳恭	中部自衛隊協力会	会長 嶋尾 正	岐阜県防衛協会	会長 村瀬 幸雄	福井県防衛協会	会長 八木誠一郎	石川県防衛協会	会長 徳田 博	富山県自衛協会	会長 山下 清胤	静岡県防衛協会	会長 中西 勝則	山梨県自衛隊協力会連合会	会長 堀内 茂	神奈川県防衛協会	会長 上野 孝	東京都防衛協会	会長 泉澤 清次	千葉県自衛隊協力会連合会	会長 熊谷 俊人	埼玉県防衛協会	会長 川本 武彦	群馬県防衛協会	会長 中嶋 君忠	長野県防衛協会	会長 町田錦一郎	茨城県防衛協会	会長 中川喜久治	栃木県防衛協会	会長 青木 勲	新潟県自衛隊協力会	会長 花角 英世	福島県防衛協会	会長 渡邊 博美	山形県防衛協会	会長 矢野 秀弥	秋田県防衛協会	会長 富樫 博之	宮城県防衛協会	会長 藤崎三郎助	自衛隊協力会岩手県連合会	会長 熊谷 祐三	青森県防衛協会	会長 藤澤 貴之	北海道自衛隊協力会連合会	理事長 島田 和久	全国防衛協会連合会	会長 泉澤 清次



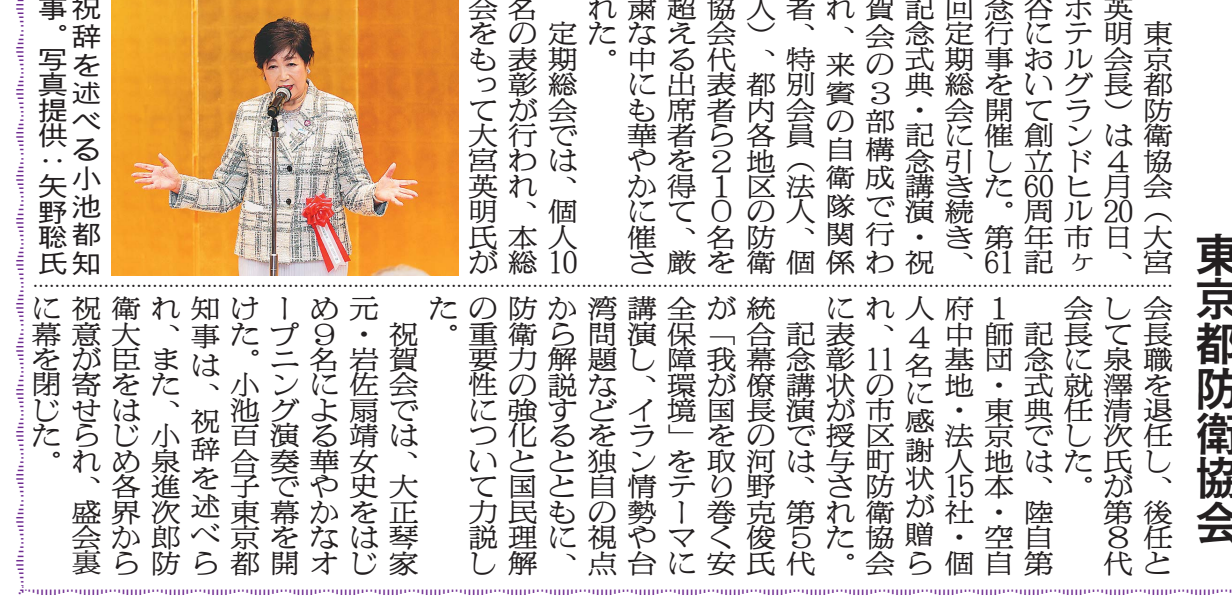
表彰式に出席された受賞者の集合写真。左から垣内氏(鹿児島)、勝亦氏(静岡)、高橋氏(愛媛)、大宮会長、北川氏(石川)、加藤氏(埼玉)、小林氏(群馬)、高澤氏(宮城)



審議の様子。前列左から大宮会長、浅野副会長、藤崎副会長、高橋副会長。総会の議長を務めた町田副会長



大宮前会長と花束を贈呈した女性部会・衛協会長。大宮前会長の退任挨拶。挨拶を述べる小泉防衛大臣。挨拶を述べる宮崎副大臣。挨拶を述べる若林政務官。挨拶を述べる若林政務官。溝渕・青年部会長の中締め



創立60周年記念行事。東京防衛協会(大宮英明会長)は4月20日、ホテルグランドヒル市ヶ谷において創立60周年記念行事を開催した。第61回定期総会に引き続き、記念式典・記念講演・祝賀会の3部構成で行われ、来賓の自衛隊関係者、特別会員(法人、個人)、都内各地区の防衛協会代表者ら210名を超える出席者を得て、厳粛な中にも華やかに催された。定期総会では、個人10名の表彰が行われ、本総会をもって大宮英明氏が祝辞を述べる小池聡知氏。写真提供：矢野聡氏

定期総会関連行事トピックス

抑止態勢の構築を目指して

常任理事 岸川 公彦

ウクライナや中東での紛争の長期化、我が国周辺の中国、北朝鮮の軍事力の強化や人工知能(AI)・量子技術の革新的進歩など我が国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しい局面にあり、現政権の下、我が国の抑止力と対処力を強化するため、防衛力の抜本的強化が精力的に推進されている。

このような中、日米同盟を基軸とし、米国の抑止力に大きく依存している我が国として、昨今の米国の自らの主権を重視した非介入指向は看過できないものであり、主権国家としてこれまで以上に戦略レベルにおけるより実効的な抑止力のあり方について真剣に検討する必要があります。

抑止は概念的に「拒否的抑止」と「懲罰的抑止」に大別され、「拒否的抑止」は攻撃の成功を物理的に阻止する能力で、前方配備部隊、弾道ミサイル防衛(BMD)、防空、対艦能力などが代表的手段とされます。一方、「懲罰的抑止」は攻撃後に相手に耐え難い代償を課すことで攻撃を思いとこまらせる手法で、長距離高威力打撃力や拡大抑止がこれに該当するとされています。両者は相手を判断(成功確率と費用)に働きかける点で共通していますが、効果の性格が異なるため、機能的には相互補完が不可欠とされています。現状の我が国の防衛態勢は主として「拒否的抑止」に重点を置いたものであり、「懲罰的抑止」の側面が相対的に弱いことが課題と言われています。

このような中、我が国周辺国を見れば、中国は、近年人民解放軍ロケット軍の弾道・巡航ミサイル能力を著しく増強しています。特に、核弾頭はもろに通常弾頭による地上攻撃・対艦攻撃さらには極超音速滑空弾頭(HICV)も搭載可能な大陸間弾道ミサイル「DF-27」は、戦略的抑止力の一端を担うだけでなく、中国の「接近阻止・領域拒否」を保持、展開しています。特に、近年は、中国のA2/AAD能力への対処として、長射程極超音速兵器(LRHWCPS)、中射程能力(MRC/タイフーン)、精密打撃ミサイル(PersM)などの整備・展開を推進しているところです。これらは米国の戦略的・戦域的な抑止と対処能力を補強するものであり、昨今の報道等でも多く見られる通程内と言われています。さらに、同盟国等との共同訓練や配備を通じ、その実効性の更なる向上が図られています。

宇宙の領域を横断した対応を可能とするセンサーや衛星、兵器で構成されるネットワーク(キルウェブ)も構築していると言われています。

一方、米国は、このような中国に対抗するため、戦略的抑止(懲罰的抑止力)として、陸・海・空・海兵隊による前方配備部隊、BMD(防空アセット)、航空戦力、対艦戦力などを一つとしてのいわゆる「反撃能力」一について、近年は、中国のA2/AAD能力への対処として、長射程極超音速兵器(LRHWCPS)、中射程能力(MRC/タイフーン)、精密打撃ミサイル(PersM)などの整備・展開を推進しているところです。これらは米国の戦略的・戦域的な抑止と対処能力を補強するものであり、昨今の報道等でも多く見られる通程内と言われています。さらに、同盟国等との共同訓練や配備を通じ、その実効性の更なる向上が図られています。

「スタンダード・オフ防衛能力」の整備が強化かつ着実に推進されているところで、他方で、これらの防衛力整備は、未だ緒に付いたばかりであり、情報・指揮機能や継続能力の強化等の面で未だ多くの課題を抱えているところであり、特に、量的・質的にも劣勢な米国を補い、中国との間に存在するミサイルギャップを埋めるのに十分な態勢を構築するには未だ至っていないと感じています。

この点を解決するために、既に政府として強力に推進中の反撃能力を主体とした防衛力の着実な整備に加えて、今後はある程度戦略的な抑止力としての防衛力の整備も促進していくことが必要ではと感じています。このように即点から見れば、秘匿性や応応性の高い潜水艦発射型ミサイルや地上発射型ミサイルの更なる長射程化や高威力化は効果的な手段に成り得るのではと考えています。

なお、これらの研究・開発には長年の年月と膨大な費用が必要であり、そのためには必要かつ最小限の準備は早急に着手する必要があることは言うまでもありません。

最後に、このような防衛力を整備するためには、先ずは世論を巻き込んだ精緻な政策議論が必要であることもろんで、4年間にもわたるウクライナとロシアとの戦争を日々見ていて感じるのは、一度始まってしまった戦争は終わらないという厳しい現実であり、これから導かれる教訓は、絶対に戦争を始めずにはならないということ、すなわち平和国家たる日本として、相手に隙を見せない間断のない万全な抑止態勢を構築・維持することだと思っています。

(元陸自中部方面総監)

令和8年度 防衛問題に関する要望書

全国防衛協会連合会は、各都道府県防衛協会の連合体として「防衛意識の高揚」と「自衛隊への支援・協力」を目的に活動しています。共通の目的を持つ民間有志の集まりとして、国民としての目線から、防衛問題に関して要望するものです。

第一点 憲法改正

我が国を取り巻く安全保障環境が近年一層厳しさを増す中、国民の国防意識や自衛隊に対する理解は高まりつつあります。

そのため、国防に関する記述が欠落している憲法をできるだけすみやかに改正して、国防の中核たる自衛隊の位置づけを明確化することは喫緊の課題であり、国会における早期かつ最優先での発議を要望します。憲法改正により、国民の自らの国を守るための国防意識をより高め、自衛隊に対する理解が格段に進むものと確信します。

第二点 国防意識の高揚を図るための各種施策の充実

憲法改正と同様に、国防のさらなる充実を図る上で、国民一人一人が、国家に対する誇りと国防に取り組むことの重要性について、正しく理解することは、極めて重要です。

最新の世論調査では9割の国民が、国の防衛について教育の場で取り上げる必要があると答えており、国民の意識に沿った教育行政の見直しを要望します。未だ、自衛官に対する敬意と尊敬ではなく、心無い発言や行動が行われていることは極めて残念であり、国民が国防について正しく理解することこそ、国防意識の高揚につながるものと確信します。

第三点 自衛官の処遇の適正化

自衛官の処遇改善に向けた施策が政府全体として推進されており、関係各位のご努力に、深甚なる敬意を表します。しかしながら、大変なご努力にもかかわらず、諸外国軍人の処遇との比較では、有事を含めた自衛官の責任・使命に国家として十分に応えられていないと言わざるを得ません。防衛力の抜本的強化の中核的措置として、自衛官に対する叙勲は、現行の退官後の叙勲を見直し、退官時の叙勲を要望します。さらには恩給制度の実現について要望します。これらは、自衛官の誇りと名誉に添え、また、安心して任務に邁進するための制度であり、自衛官の処遇の適正化に他ならないと確信します。

以上、要望します

令和8年6月1日 全国防衛協会連合会
(別紙 都道府県防衛協会等会長連名一覽)
※別紙の会長名は、一面最下段名刺広告の会長名に同じ。

令和8年盛夏 暑中御見舞申し上げます (順不同)

株式会社 朝雲新聞社

代表取締役社長 中島 貴広

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 12-20
TEL.03-3225-3841

株式会社 防衛ホーム新聞社

代表取締役社長 吉田 佳子

一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会

会長 岩崎 茂

理事長 二見 宣

月刊誌『日本の息吹』

日本会議 会長 谷口 智彦

誇りある国づくりへ、あなたの力を

2026年保存100周年 世界三大記念艦「三笠」 Memorial Ship MIKASA

VR とシミュレーターで日本海海戦を体感！

●観覧時間 休艦日：12月28日～31日		●観覧料金及び団体割引		
4月～9月	09:00～17:30	区分 員数	一般	シニア
3月・10月	09:00～17:00		600円	500円
11月～2月	09:00～16:30	20名以上	500円	500円

※シニアは65歳以上 ※小中学生は無料、小学3年生以下は保護者同伴。

●「本広告持参(5名まで、コピー可)で一般料金通常600円⇒500円」

横須賀市稲岡町82番19 TEL.046-822-5225

<https://www.kinenkan-mikasa.or.jp/>

令和8年盛夏 暑中御見舞申し上げます (順不同)

株式会社 朝雲新聞社

代表取締役社長 中島 貴広

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 12-20
TEL.03-3225-3841

株式会社 防衛ホーム新聞社

代表取締役社長 吉田 佳子

一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会

会長 岩崎 茂

理事長 二見 宣

月刊誌『日本の息吹』

日本会議 会長 谷口 智彦

誇りある国づくりへ、あなたの力を

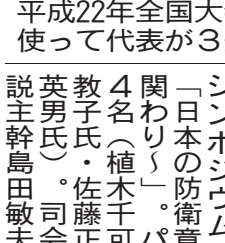
相談役
谷口和代



 平成22年全国大会：スクリーンを使って代表が3分以内で活動発表



 平成23年10周年シンポジウム



 平成24年全国大会：オリンピック

平成24年全国大会：オリンピッ

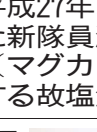


 平成27年より開始した新隊員激励事業（マグカップを贈呈する故塩浦副会長）



 平成27年、衛官と米兵

かりと受け継ぎ、矜持を持つこと次世代に繋いでくださる事を心から願っています。



 平成30年全国大会…陸・海・空幕僚長にご挨拶を賜った

脈々と受け継がれてきた諸先輩方の気概を胸に、今後より誠心誠意務めてまいるのである。

今期のスローガンとして

存在です。世界どの国においても大切に扱われており、国民としての誇りと自覚がそこ表れています。

刑法第92条の外国国章損壊罪では、外国の国旗等を損壊・汚損する行為が犯罪とされていますが、日本の国旗に対する直接的な刑罰は存在しません。国旗・国歌が国家の象徴である以上、私たちが自身がその意味

事態」に陥ることはない」と信じています。

世界平和のために、自衛隊の存在を明確に位置づけること――その意義を、改めて皆さまと共有してまいりたいと存じます。

以上、就任のご挨拶とさせていただきます。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第10代会長 **溝**

脈々と受け継がれてきた諸先輩方の気概を胸に、今後より誠心誠意務めてまいるのである。

今期のスローガンとして

存在です。世界どの国においても大切に扱われており、国民としての誇りと自覚がそこ表れています。

刑法第92条の外国国章損壊罪では、外国の国旗等を損壊・汚損する行為が犯罪とされていますが、日本の国旗に対する直接的な刑罰は存在しません。国旗・国歌が国家の象徴である以上、私たちが自身がその意味

事態」に陥ることはない」と信じています。

世界平和のために、自衛隊の存在を明確に位置づけること――その意義を、改めて皆さまと共有してまいりたいと存じます。

以上、就任のご挨拶とさせていただきます。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

能勢伸之

のは、それ以前より難しくなった。

では、ウクライナに新たな対抗手段はあるのか。敵の滑空爆弾に対し、戦闘機等の武器や地対空迎撃ミサイルで、迎撃することも考

弾を二つ二つ迎撃するよりはるかに効果的」（ウクライナ・プルーダ2025/11/10付）との意見もあった。では、ウクライナはロシア国内の飛行場を叩けるのか。「ロシア製KABの類似のトを輸出すると通告した。ウクライナがロシアの軍用機を破壊し続ければ、西側全体の安全保障にもプラス」として、米国は、ウクライナに対し、守勢から攻勢への転換を促すのだろうか。

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

F-2 戦闘機

12SSM 12 式地对艦誘導弾

InterSePT
サイバーセキュリティシステム

SH-60L 哨戒ヘリコプタ

16 式機動戦闘車

自律型水中航走式機雷探知機 OZZ-5

潜水艦「たいげい」

護衛艦「もがみ」

H3 ロケット

